

ループボンド・タフバインダー工法用

既調合モルタル

LTボンドプラス

(タイル張り用ポリマーセメントモルタル)

施工要領書

二瀬窯業株式会社

1. 適用範囲

本要領書はループボンド・タフバインダー工法（LT工法）にて行なう、タイル張り仕上げ工事について適用する。

2. LT工法のフローチャート



3. 製品の概要

名称	粉体重量/袋	加水量/袋	練上量/袋	標準塗厚	標準施工面積
ＬＴボンドプラス	25kg/袋	4.2～4.5 リットル/袋	約 15 リットル	4～6mm	5mm 厚 ----- 3m ²

備考

アミラン・タフバインダー混入セメント系タイル張付材、下地調整塗材
ＬＴ工法用既調合モルタル適合商品

適合する公的規格・・・ 公共建築協会 建築材料・設備機材等品質性能評価事業
既製調合モルタル（タイル工用）品質適合製品
JIS A 6916 建築用下地調整塗材
試験用タイル張付け用モルタルの品質適合製品

適用下地	コンクリート・モルタル面
適用タイル	モザイク～二丁掛け

※ 塗りつけのポイント（重要）

練り混ぜたＬＴボンドプラスを下地にこすりつけながら、コテ庄を十分加えて、しごき塗りを行なう。その後、同様に塗り重ね所定の厚さに調整する。

下地には細かな凹凸があり、ＬＴボンドプラスにも練り混ぜ時の連行空気があるため、十分な圧力を加えて塗り付けないと下地との接着界面に空隙ができる恐れがあり、これが強度不足や接着不良といった要因になるため十分に留意する。

4. 施工時の環境条件

降雨・降雪時、またはこれらが予想される時は原則として施工を行わないこととする。

気温が 3℃以下および施工後 3℃以下になると予想されるときは、原則として施工を行わないこととする。

施工面に対し直射日光、風の影響を受けないよう足場シート等による防護を施す。

5. 施 工

(1) 下地の確認

下地は十分な養生期間を経過していることを確認する。

モルタル下地は表面のレイタンスや白華物等の不純物の除去し、十分に水洗いを行なう。

コンクリート下地は表面のジャンカなどの不良部分は、十分にはつき取る。さらに表面のレイタンスや型枠剥離剤等の不純物の除去、接着界面の平滑化を防ぎモルタルの付着性を良くするため、超高压水洗浄法による目荒しを推奨する。

超高压水洗浄法・・・吐出圧 150N/mm²、ノズル距離 10cm 以内、運行速度はコンクリートの強度・材質により異なるが、下地に直径 5mm ほどの螺旋が複数に重なるよう描く速度とする。

詳しくは JASS19 陶磁器質タイル張り工事に解説写真が掲載されているのでこれを目安とする。

(2) 吸水調整

下地となる面全面に吸水調整を施す。

※吸水調整剤はユニレックス 3 の 5 倍希釈液を推奨。

5 倍希釈割合	ユニレックス 3	水道水	標準塗布面積 600m ²
	1 (18kg/缶)	4 (72kg)	

(3) タイル張り

① 練り混ぜ

調合	
LTボンドプラス 25kg	水 4.2～4.5ℓ

所定量の水道水を練り混ぜ容器に入れ、製品粉体を徐々に加えながらハンドミキサー等の機械器具でダマが残らないよう十分に攪拌する。

練り上がった材料は夏期 40 分以内、冬期 60 分以内に使用し、練り足しや加水しての練り返しは行わない。

② 塗り付け

塗り付けは金ゴテを使用して必ず二度塗りを行なう。

予め、ループボンド・スーパーループボンドにLTボンドプラスを十分に詰め込み、
追いかけて下地にスリ込むようにしごき付けながら塗りつける。

その後、施工するタイルに応じて重ね塗りして所定の塗り厚に均す。

【塗り厚の目安】

モザイクタイル	小口平タイル・二丁掛タイル
4～5 mm程度	5～6 mm程度

くし目を引いたままのタイル張りは行なわない。(タイル裏面への充填不良の原因になります。)

塗り付けの範囲は2㎡もしくは15分以内にタイルを張付けできる程度とする。

③ タイルの張付け

a) 塗り置き時間

タイルの張付けは、張付材の塗りつけ後、15分以内にタイルを張り付ける。

塗り置き時間はあくまでも目安であり、施工時の環境条件によって変化しますので、
張付けの際には必ず指で触れて粘着することを確認する。指につかなくなった場合は
剥がしとして塗りなおしを行なう。

b) 張付け

タイルの張り付け工法は、現場の施工計画に従う。

施工中、適宜にタイルを剥がし取り接着状況(タイル裏面への充填)の確認を行なう。

c) 配列修正

張付材が軟らかいうちに目地部分の余分な張付材をかきとり、タイルの配列修正を行
なう。固くなってから無理に動かすと接着界面にズレが生じ、のちに剥離故障の原因
となるため注意する。

(8) 養 生

施工後24時間は、雨・雪・直射日光・強風にさらされないようシート等により保護する。

(9) 目地詰め

目地詰めは、張付材の施工後2日以上経過してから行なう。

■ 取り扱い注意事項

- ・ 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内にご使用下さい。
- ・ 製品の保管は直射日光や水濡れを避ける場所とし、パレットなどに載せて床への直置きを避けて下さい。また、必要に応じてシート掛けなどによって保護して下さい。
- ・ 開封した製品は、その日のうちにご使用ください。
- ・ 練り混ぜに使用する水は、水道水等の清浄水を使用して下さい。
- ・ 指定材料以外は混入しないで下さい。
- ・ 製品のご使用に際しては、防塵マスク、防塵眼鏡、保護手袋など着用の上、適切な安全対策を実施して下さい。詳しくは、製安全データシート(SDS)をご参照ください。

ループボンド・タフバインダー工法の適用及び施工の詳細については、建設技術審査証明（建築技術）報告書「タイル張りモルタル層の剥落防止技術 ループボンド・タフバインダー工法」（財団法人日本建築センター）を参照して下さい。またタイル張り工事については、「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 19 陶磁器質タイル張り工事」に準じて行なって下さい。

なお、本要領書は、新しい技術情報等の入手により断りなく改訂することがありますことをご了承下さい。

二瀬窯業株式会社

本 社：〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669

TEL (0948)22-0447 / FAX (0948)29-0289

営業所：東 京 TEL (03) 6453-6685

大 阪 TEL (06) 6583-3310

名古屋 TEL (052) 509-2485

福 岡 TEL (0948)22-0447

2018.10